



## 92歳、免許証更新の弁

田中正和 陸士60

8月号「偕行現代考 高齢者ドライバ―について」を読んで、名実ともに高齢者ドライバ―たる私の免許更新の事について書いてみたい。

昨年末、警視庁担当部署から免許証更新のハガキ、更新するなら混んでいるから早めに予約して手続きを進めるようにとの文面だった。まだ半年もあると高をくくり、暫く後に電話したら、3月までは満杯、今予約出来るのは認知症検査が5月11日、それでOKだったら、高齢者講習は6月4日とのこと、仕方なく、その日程で進めた。両方ともOK、翌6月5日に近くの警察署で免許証

の交付を受けた。

殆ど毎日、運転しているので車なしでの生活は今のところは考えられない。

高齢者の事故が多発しているが、気の毒な被害者もあり、胸が痛む。6月の同期生会である相武の懇親会に16名（本人）が出席したが、運転しているのは小生を含めて3名だった。当然ながら、お互い事故を起こさないよう、運転しましょうとなる。

新聞にも投書も含めて色々報道される。高齢者は免許証を返納すべしが大勢か。

小生、意見あり。高齢になるほど、個人差が大きい。だから、その一、高齢者の免許証有効期限は現行の3年から1年更新へ、その二、実技テスト（シミュレーション）で、アクセルとブレーキの踏み間違いがあつたら不合格とする。

事故の原因は殆どアクセルとブレーキの踏み間違い。逆走などは論外、すべては認知症が原因ではないか。認知症が急速に進むとすればこれくらい厳しくして当然だろう。交通手段が限られている田舎では車は必須だが、高齢者といえども事故を起こす恐れがない健全者にしか免許証は交付しない。こうすれば悲惨な高齢者の事故も減り、今ほど社会問題化することもないのではないか。